



かすみがうらマラソン2018 兼 国際盲人マラソン



去る4月15日(日)、「第28回かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン大会」が、大勢の参加者のもと、盛大に開催されました。前日の準備を含め、総勢509名のボランティアが大会の運営にご協力くださり、大いに盛り上げてくれました。

ボランティアとしてご協力いただいた企業・サークル ※順不同

- ・(株)筑波銀行
- ・日立建機(株)
- ・(株)常陽銀行
- ・JFE商事(株)
- ・(株)日立製作所 土浦事業所
- ・(株)セブン&アイ・ホールディングス
- ・(株)かんぽ生命保険 土浦支店
- ・日本マクドナルド(株)
- ・(株)日本金属ネオマテリアル
- ・中川ヒューム管工業(株)
- ・日本郵便(株) 土浦郵便局
- ・ひまわりの会

おもな内容

- 平成29年度土浦市社会福祉協議会事業報告・資金収支決算
- 平成30年度土浦市社会福祉協議会会員募集
- 障害児(者)育成会会員募集
- 2018 こどもフェスティバル開催のお知らせ
- 地域福祉活動計画
- 各種事業参加者募集
- 登録ヘルパー募集
- 社協事業紹介

平成29年度事業報告

地域福祉活動の推進と充実のために各種事業を展開してまいりました。
 主な事業を次のとおり報告いたします。

地域福祉グループ

◆福祉施設等の管理運営

社会福祉センター、老人福祉センター「湖畔荘」・「うらら」2施設と、新治総合福祉センターの管理運営をしました。

◆生きがい健康づくり

芸能発表会、高齢者スポーツ大会、各種趣味クラブ活動など、多様な事業を展開し、高齢者の方々の生きがいづくりと健康の増進を図りました。



◆ふれあい電話訪問サービス

市内在住の70歳以上のひとり暮らしの方で希望される方を対象に、月に2回ボランティアが電話をかけ、安否の確認と孤独感や不安感の解消を図りました。

◆福祉ふれあい体験

福祉への興味・関心を高めるため、市内在住の小学生(3〜6年生)を対象に、盲導犬センターの見学・体験を行いました。今年も参加者を募集しています。(P6参照)



◆障害児(者)交流キャンプ

障害のある方に多くの仲間たちと楽しく過ごしてもらおうと共に、家族の相互交流を目的に、今年も千葉県南房総方面へ行きました。楽しく充実した時間を過ごしました。今年も参加者を募集しています。(P6参照)



◆ひとり親家庭親子ふれあいの集い

土浦市母子寡婦福祉連絡協議会との共催で、ひとり親家庭相互の交流・親睦と親子のふれあいを深めるため、東京スカイツリーへ行きました。今年も参加者を募集しています。(P6参照)

◆青少年ワークシエップ

福祉に対する理解を深め、思いやりの心をもった豊かな人間性の育成を目的として、市内在住・在学の高校生・大学生・専門学生を対象に、福祉施設等での体験活動を行いました。今年も参加者を募集しています。

◆おもちゃライブラリー

障害のあるお子さんとその保護者同士のふれあいの場として、おもちゃ

ライブラリー事業を実施しました。ボランティア手作りのおもちゃを通して、子どもたちの発達を促進するとともに、子育ての情報交換の場となりました。

◆ボランティアセンター

ボランティア活動推進のため、ボランティアに関する様々な相談や調整を行いました。

点字点訳・音訳・傾聴・手話・要約筆記・ガイドボランティアなど、各種ボランティアの養成講座を開催しました。



◆友愛サービス

市民同士の助け合いによる有償型ボランティアサービスとして、食事の支度・洗濯・掃除・買い物などの家事援助のサービスを提供しました。

◆ファミリー・サポート・センター

市民同士の助け合いによる有償型ボランティアサービスとして、保育施設への送迎や学童保育終了後の預かり、産前産後の家事援助などのサービスを提供しました。

◆社会福祉協議会支部

市内8ヶ所に設置されている社協支部では、身近な福祉の相談窓口として、相談に応じるとともに地域の皆さんと連携して宅配型食事サービス等、各種支部事業を展開しました。

◆障害者自立支援センター

障害のある方の日中活動の場として、創作活動や機能訓練などの各種福祉サービスを提供し、その人らしい生活が送られるよう支援しました。

◆福祉の店ポプラ

市内外の福祉施設で障害者の方々が手作りした作品等を、常設店（市庁舎店・中央店）やイベントへ出張し、販売しました。

◆訪問介護事業

支援を必要とする方々に、介護保険法や障害者総合支援法に基づき、家事援助・身体介護等を行い、その人らしい日常生活や社会生活を送ることができるようサービス提供しました。

ふくしの相談グループ

◆基幹相談支援センター

障害のある方やご家族からの生活全般の相談に応じて、福祉制度の情報提供や、福祉サービス利用に関する総合的・専門的な支援を行いました。

◆障害者虐待防止センター

障害者への虐待の早期発見と虐待を未然に防ぐため、虐待に関する通報や相談を、専用回線で24時間365日受け付け、関係機関と連携して支援を行いました。

◆地域包括支援センターつちうら

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、介護予防のための事業やケアマネジメントを実施するとともに、高齢者に関するさまざまな相談に応じました。



◆ふれあいネットワーク

要支援者を地域で支え合うため、民生委員児童委員・医師・訪問看護ステーション・在宅介護支援センター・ボランティアなどの関係機関と連携し、地域ケア体制の拡充を図りました。

◆生活困窮者自立支援事業

生活困窮者からの相談に応じて、それぞれの自立につながるよう、就労支援その他必要な情報の提供及び助言を行いました。また、生活困窮世帯の小学4～6年生を対象に、子どもの学習支援教室を開設し、ボランティアによる学習指導を行いました。



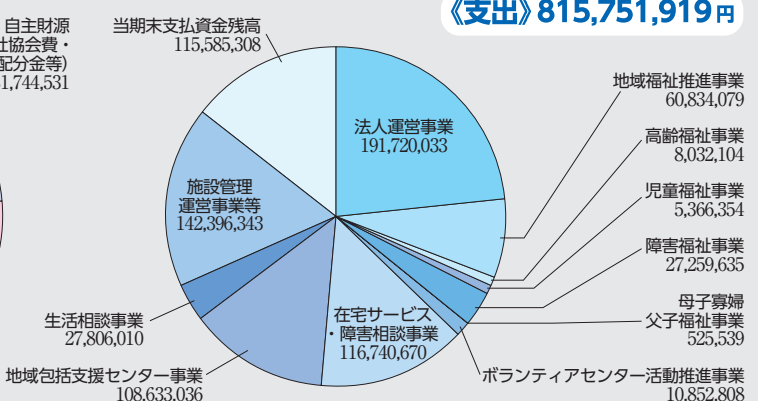
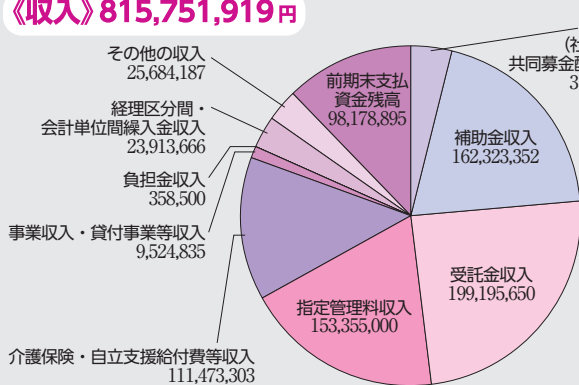
◆成年後見センターつちうら

成年後見制度に関する相談に応じ、申立て手続き支援等を行いました。また、人材育成や成年後見制度の基礎知識や必要性の周知のため、市民後見人フォローアップ研修や市民後見人講演会を開催しました。

平成 29 年度 社会福祉協議会資金収支決算

《収入》815,751,919円

《支出》815,751,919円



～ あたたかい ふれあいのあるまちづくり ～
第3次地域福祉活動計画を策定しました!!
 (平成30年度～平成34年度)

基本
理念

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
 ～ ささえ愛、たすけ愛、ふれ愛のある 魅力あふれるまち 土浦 ～

計画の
基本目標

- 〈基本目標 1〉 人を育み支えあい、ふれあいのあるまちづくり
- 〈基本目標 2〉 生活圏に密着したサービス・支援体制づくり

基本理念を実現するための施策を推進する上で、基本目標にそって
 各種事業を推進してまいりますので、今後ともご支援ご協力をお願いいたします。



平成30年度 社協会費納入にご協力をお願いします。

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を実現するため、土浦市社会福祉協議会（略称：社協）は日々活動しています。皆さまからお預かりした会費は、社協が実施する地域福祉事業の大切な財源となっています。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

高齢者の方々への支援

ひとり暮らし高齢者や高齢世帯等へのふれあい電話訪問サービス事業や、高齢者の生きがい健康づくり事業等に

障害のあるの方々への支援

障害のあるお子さんに適したおもちゃの貸出や製作をおこなう「おもちゃライブラリー事業」や各団体への助成等に

子育て家庭や子どもへの支援

ひとり親家庭の親子の絆を深めることを目的とした「親子ふれあいの集い」、車いす体験や高齢者疑似体験等の「児童福祉体験講座」等に

地域福祉活動の推進

社協支部（市内各中学校区ごとの公民館に設置）による福祉活動の展開等に

ボランティアの育成と支援

点字点訳、音訳、傾聴等のボランティア養成講座開催、各種ボランティアの相談、調整、派遣等に

市社協事業の推進

地域福祉活動計画策定、法人運営に要する諸経費等に

「社協会費」は、社会福祉協議会活動の充実を図り、その結果、地域住民の福祉向上につなげる趣旨のものであり、募金や寄附金と同様、任意に基づくものです。



会費（1世帯1口 500円）は、自治会・町内会を通じてお願いしております。

平成29年度皆さまからお寄せいただいた会費は、13,577,800円でした。ご協力ありがとうございました。

障害相談係からのお知らせ

基幹相談支援センター

障害者手帳の有無にかかわらず、障害のある方やそのご家族等を対象に、福祉制度やサービスの情報提供、生活全般の総合的・専門的な相談支援を行っています。「障害者差別解消法」に関するご相談にも応じています。ご相談は無料です。

※「障害者差別解消法」に関するご相談窓口は、基幹相談支援センターと

土浦市役所障害福祉課 ☎826-1111 (内線2365) です。

『障害相談係・基幹相談支援センター ☎821-5995』

障害者虐待防止センター

障害のある方への虐待が疑われる場合の通報受付や相談に対応し、虐待防止に関する普及啓発活動等を行っています。「虐待をされる人」と「虐待してしまう人」の両方を救うための相談窓口でもあります。

通報・相談は専用ダイヤルで24時間365日受け付けです。(夜間・休日は市内の社会福祉法人で受付)

『障害者虐待防止センター専用ダイヤル ☎824-1650』

※FAXをご利用の方は、FAX：824-4118

FAXは、年末年始(12/29～1/3)および国民の休日を除きます。

成年後見センターつちうらからのお知らせ

**ご存知ですか？「日常生活自立支援事業」「成年後見制度」
どちらも判断能力が十分でない方の権利を守るためのものです**

日常生活自立支援事業

専門員と生活支援員が定期的な訪問と
日常的金銭管理などを行いながら、
ご本人さまの生活の変化を察知します

**ご本人さまの
意思を尊重します**

成年後見制度

成年後見人等が、財産管理・身上監護(※)
に関する法律行為を行いながら、
本人意思決定の代行代理支援をします
※介護保険や病院などの身の上の手続きをすること。

**取消権・同意権、
代理権を使って権利を護ります**

詳細はお問い合わせください

『生活相談係・成年後見センターつちうら専用ダイヤル ☎821-1152』

青少年ワークショップ（青少年福祉体験）参加者募集

青少年ワークショップに参加し、福祉活動を通して、誰もがもっている思いやりの気持ちを自然に行動に移してみませんか！

日程 事前研修 8月10日（金）
ワークショップ 8月22日（水）～24日（金）

参加費 無料（昼食実費負担あり）

活動内容 次の4コースから第1希望・第2希望をお選びください。

申込方法 電話でお申込みください

- A：保育所での活動体験
- B：障害児通所施設での活動体験
- C：高齢者通所施設での活動体験
- D：障害者通所施設での活動体験

申込みの際、住所・氏名・年齢・電話番号（携帯）・学校名（学年）・希望コース（第2希望まで）をお知らせください。

申込締切 7月13日（金）まで。

対象者 市内在住・在学の高校生・大学生・専門学校生

定員 40名（申込み多数の場合は抽選）



福祉ふれあい体験【日帰り】

とき 第1回：8月2日（木）
第2回：8月8日（水）

参加費 1,000円（1名につき）当日集めます

見学・体験先 東日本盲導犬協会（栃木県宇都宮市）
※福祉バス利用

申込方法 往復はがきに児童の氏名（ふりがな）・性別・生年月日・住所・電話番号・学校名・学年・保護者の氏名・緊急連絡先・保護者の同伴の有無を記入の上、お申込みください。

内容 盲導犬センターの見学・盲導犬についての勉強

※はがき1枚につき申込みは1名のみ

対象者 市内に居住する小学3年生～6年生
※児童1名に対し保護者1名の同伴可

定員 各回20組40人（定員を超えたときは抽選）

申込締切 7月13日（金）【必着】

障害児(者)交流キャンプ参加者募集

とき 8月19日（日）～20日（月）【1泊2日】

参加費 障害児（者） 3,000円
保護者 15,000円

ところ 栃木県日光市方面
※行き先は都合により変更となる場合があります。

申込方法 参加費を添えて、社会福祉協議会へ直接お申込みください。

対象者 障害児（者）とその保護者

申込締切 7月6日（金）まで。

定員 120名（先着順）



ひとり親家庭「親子ふれあいの集い」参加者募集

～アクアマリンふくしまへ行こう～

とき 7月14日（土）午前8時15分～午後5時00分ごろ

参加費 【土浦市母子寡婦会員】 大人500円
中学生以下300円

ところ アクアマリンふくしま（福島県いわき市）

【一般】 大人1,000円
中学生以下500円
※3歳児未満無料

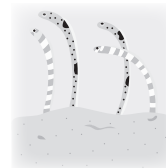
対象者 市内に居住するひとり親家庭の親子（中学生まで）

定員 20組（申込多数の場合は抽選）



申込方法 電話でお申し込みください

申込締切 7月2日（月）まで。



申込み・問合せ先

福祉のまちづくり係 ☎ 821-5995

〒300-0036 土浦市大和町9番2号 ウララ2ビル4階

ふれあい・いきいき・サロン事業

いきいきサロンは、お互いが「支えあい・助け合う」そして「つながり」をもつことで、地域の豊かな人間関係をつくりだし、はぐくむ、そんな「ふれあいの場」をいいます。サロンにおいては、地域（町内）を拠点に、住民同士が協働で活動内容を企画・決定し、ともに運営していく仲間づくりの活動です。

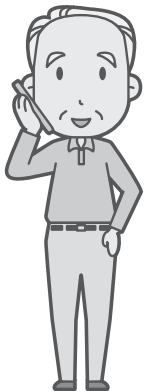
「サロンをはじめてみたい」「活動のアイデアが浮かばない」「レクリエーションの講師・指導員等の紹介をして欲しい」…こんな時は、社会福祉協議会へお気軽にご相談ください。

また、サロンを始めるには、開催要件等がありますので、事前にお問い合わせください。



【問合せ先】福祉のまちづくり係 ☎ 821-5995

ふれあい電話訪問サービス事業



ふれあい電話訪問サービスは、ボランティアの方々が電話で訪問し、世間話や悩み事をうかがいながら、少しでも明るい気持ちになって頂く活動です。一緒にお話ししてみませんか。

お気軽にお問い合わせください。

対象 70歳以上のひとり暮らしの方

利用日 月に2回 火曜日（土浦地区） 午前9時30分～午後3時30分
第2・4 火曜日（新治地区） 午前中



【申込み・問合せ先】福祉のまちづくり係 ☎ 821-5995



育成会の会員を募集しています。（一口1,000円から）



趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

土浦市障害児(者)育成会

障害児(者)を取り巻く社会環境が大きく変化し、さまざまな福祉課題の取組が求められているところから、障害児(者)団体等の活動を支援するとともに、広く市民の皆さまの理解を深め、障害児(者)及びその家族の福祉の推進を図ることを目的として、民生委員児童委員が自発的に支援活動を行う会として設立したものです。

障害福祉の推進のために福祉団体の活動支援や次のような事業を展開しています。

教育研究会特別支援研究部

市内小中学校合同の校外学習など、日頃、一堂に会し活動することが少ない児童・生徒が、共に活動して交流を深めるための事業

障害児(者)交流キャンプ

障害児(者)が多くの仲間と夏の2日間を楽しく過ごすとともに、親が子の問題や日常生活の悩みを話し合いながら、相互交流の理解を深めるための事業

障害児(者)を励ます新年の集い

新たな年の輝かしい門出に当たり、障害児(者)が社会の一員である自覚を持つとともに、その家族が一堂に会して交流を深めるための事業

各種団体の研修及びレクリエーション

障害児(者)団体相互の交流を図るための事業

【問合せ先】土浦市障害児(者)育成会事務局(福祉のまちづくり係内) ☎ 821-5995

善♥意♥銀♥行

まごころコーナー

平成30年4月1日 ~ 平成30年5月25日

(敬称略)

ご協力ありがとうございました。

金 銭

土浦北ライオンズクラブ	100,000円	・コーヒーハウスアモル 代表 滝 智一	20,360円
土浦市新治総合福祉センター お楽しみ教室	650円	・土浦協同病院看護師会	65,350円
一中地区民生委員児童委員協議会	6,609円		

物 品

- ・水野 敏
- ・安達 真貴子
- ・永国東町社会学級
- ・六中地区公民館
- ・宮本 紳一
- ・一中地区民生委員児童委員協議会
- ・塚田陶管株式会社
- ・コーヒーハウスアモル 代表 滝 智一
- ・(株)ベテル・ハドソン研究所
- ・都和中地区民生委員児童委員協議会
- ・NPO法人 いろは
- ・針の会
- ・笹沼 悦郎



訪問介護 (ホームヘルパー) 募集

訪問介護事業所うららでは、随時登録ヘルパーを募集しています。
ご自身の好きな時間帯や好きな曜日に働くことができます。
家事・育児との両立やWワークをしたい方にもおすすめです。
興味のある方、お気軽にお問合せください。

資 格 介護職員初任者研修
(ホームヘルパー2級)
または介護福祉士

問 合 せ 総務係 ☎821-5995



新治総合福祉センターからのお知らせ

「2018こどもフェスティバル」

を開催しま〜す!

7月14日(土) 午前10時～午後2時 新治総合福祉センター内

たべものコーナー

カレーライス一皿	} 各200円
焼きそば	
かき氷・フランクフ	} 各100円
ルト・紙パックジュ	
ス、ポップコーン	
綿あめ	50円 など

ゲームコーナー

折り紙の魚釣り、射的、	} 無料
扇子落とし、輪投げ、	
スカットボール	
金魚すくい	} 各1回
水ヨーヨー	

体験コーナー

パーラービーズ

いばらきコープ

パンチふうせん
プレゼント!
試食会 など



問い合わせ先 | 新治総合福祉センター 土浦市沢辺1423-1 ☎862-3522



土浦市社会福祉協議会

〒300-0036 土浦市大和町9-2
土浦市総合福祉会館内(ウララ2ビル4階)
TEL 029-821-5995(代) FAX 029-824-4118
E-mail info@doshakyo.or.jp
http://www.doshakyo.or.jp

編集後記

もうすぐ梅雨入り、憂鬱な季節ですね。そもそも梅雨とは日本や朝鮮半島等の極東アジアの一部にしかないもので、この地域特有の稲などの植物の成長には欠かせないものです。またこの時期に雨が少なく、暑い真夏に水不足になる恐れもあります。そう考えると憂鬱な梅雨も必要なんですね。(Y.M)

